

I 実践

1 研究主題

豊かな人権感覚や人権意識を醸成する適切な教育活動に努め、学校の教育活動全体を通して人権教育の推進を図る。

(1) 主題設定の理由

本校は、全校児童 14 名という小規模校である。これまで限られた人的環境の中で児童がより多くの人たちと人間関係を築けるようにするために、地域人材の活用を中心とした「地域重視」の指導に力を入れてきた。そうした試みが互いの良さを認め合い、互いに支え合う温かい人間関係の育成につながってきている。ただここ数年、コロナの影響により地域交流が難しくなっている。そのような中で、体験活動を通して、差別や偏見の心を持たず、他者への思いやりと感謝の心を育て、自らの人権の大切さと同じように他者の人権も大切にしていこうとする態度を育てていきたいと考え、本主題を設定した。

(2) 研究の内容

- ① 人間は法の下に平等であるという考えに立ち、差別や偏見をなくし、他者を尊重する態度を育成する。
- ② 自分の大切さと共に他人の大切さを認め、様々な場面で具体的な態度や行動で表すことができるようにする。
- ③ 人権教育に関する研修会の積極的な参加、校内研修での伝達を通して、人権教育に対する意識を高め、教員としての資質の向上を図る。

2 実践内容

(1) 豊かな体験活動の展開

① 学校の特色である創作和太鼓演奏

創立 100 周年の記念行事で誕生した創作和太鼓も今年度で 5 年目となった。本来なら三世代交流会、地区敬老会、福祉のつどいなど、多くの地域の方々の前で演奏を披露する予定であったが、コロナ禍により発表の場が失われることが多かった。ただ児童たちは準備や練習をする中で、団結することや協力することの大切さを学び自信をつけることができた。



創作和太鼓「花信風」

② 異学年との交流活動（たてわり班活動）

本校では、週に 1 回（水曜日）に「東小沢っ子タイム」と称してロングの昼休みの中で、全校での集団遊びや異学年交流を行っている。交流を通して、高学年は下級生の面倒をよくみながらリーダーシップを発揮し、低学年も高学年との交流を楽しみにしている。



たてわり班でのドッチボール

③ あいさつ運動や募金活動

地域の方や久慈中学校の代表の生徒が来校し「あいさつ運動」を実施している。また、各種募金活動にも積極的に取り組んだ。

④ 児童による読み聞かせ（新規事業）

本校では、今年度人権をテーマにした図書委員による読み聞かせを実施した。図書委員が低学年・高学年に読み聞かせを行い、児童はいじめについて考えることができた。

（低学年本には、「あしなが」）

（高学年本には、「トゲトゲ」、「わたしのせいじゃない」）



図書委員による読み聞かせ

(2) 人権に関する啓発活動の充実

① 人権作品展（メッセージ・標語・ポスターなど）への取り組みについて

人権意識を高めるための啓発活動に、高学年を中心に取り組んでいる。児童が書いた人権メッセージを教室に掲示し、日々人権の意識化を図っている。

② 人権学習の実施

道徳の時間には、人権にふれながらの授業にも取り組んだ。年間の各教科の指導計画の一覧表から連携を図り、さまざまな教科等で人権教育につなげるようにした。



6年生教室に掲げた人権メッセージ

(3) 人権意識を高めるための職員研修の充実

① 全職員で取り組む校内研修

校内研修の時間や生徒指導の情報交換の中で事例研修を行い、教職員の人権意識を高めるようにした。特に、今年度の夏休み中の研修でDVD「ホーム」の視聴を全職員で実施した。職員一人一人の人権意識の高揚化を図ることができた。

② 年間指導計画の見直し

「人権教育に関わる年間指導計画」を学年ごとに検討している。特に女性・子ども・高齢者・障害者・同和問題・東日本大震災等の人権侵害の見直しを継続して行っている。また、新型コロナウイルス感染症問題も重点化していく。

3 成果

(1) 異学年交流を通して、好き嫌いにとらわれずに、誰に対しても公正・公平にふるまい、仲良く生活する態度を育てることができた。また、今年度は、休み時間に低学年と高学年が仲良く活動する場面昨年より多く見かけるようになった。高学年児童に低学年児童を思いやる心が育っている。

(2) 創作和太鼓の演奏活動や「あいさつ運動」を通して、自分たちが地域の一員であるという児童の自覚をより高めることができた。

II 今後の課題

(1) 学校教育全体を通して、人権に関する学習をよりいっそう充実させ、児童一人一人の人権意識のさらなる高揚を図るための取り組みを計画的・継続的に実践していきたい。

(2) 児童が地域の一員であるという自覚をさらに高めていく手立てを意図的に展開していきたい。

(3) 人権意識を高めるための職員研修を計画的・継続的に実施し、人権教育について共通の認識が持てるようにしていきたい。

(4) 人権コーナーの設置

本校では「人権コーナー」という名称では設置していないが、道徳的な内容を含んだ「こころのまど」を各教室に設置している。学校行事に関して児童ががんばったことなどを写真や児童の感想などとともに紹介し、人権教育の啓発活動を行っている。

また、各教室には、青少年赤十字の誓いの言葉やデュナンの肖像を掲示し、日々意識付けを行っている。

